

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	2
研究課題名	COVID-19に関するレジストリ研究
研究責任者 <small>(試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)</small>	病院長 新保卓郎
共同研究者 <small>(利用する者の範囲)</small>	循環器内科医長 金澤晃子 救命救急センター救急治療部部長 石田時也 救命救急センター集中治療部部長 佐々木徹 呼吸器内科部長代行 安達優真
研究目的 <small>(試料・情報の利用目的及び利用方法)</small>	2019年12月から中国の武漢市で新型コロナウイルスによる肺炎の集団発生が確認されました。新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）には確立された治療法はありませんが、重症例を中心に抗ウイルス薬などの薬剤が投与されはじめています。どのような方が重症化しやすいか、妊婦や小児の患者さんなどにおいてどのような経過をたどるのかなど、多くのことがまだわかっていません。この研究では、COVID-19と診断された方に参加していただき、重症化する方の特徴や経過、薬剤投与後の経過など、COVID-19に関する様々な点について明らかにすることを目的としています。
他の研究機関への情報提供の有無、及び提供方法	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた病院の研究責任者や個人情報管理者などが保管・管理します。研究のデータは、WHOなどの国際的な研究グループと共有する場合があります。その場合、匿名化対応表は提供せず、個人の特特定ができない状態で共有します。
研究実施期間	2020/05/08～2023/01/31
研究対象者及び対象期間	2020年1月1日以降にCOVID-19と診断された方
利用する情報 <small>(利用し、または提供する試料・情報の項目)</small>	対象期間中に記録された診療情報（症状、基礎疾患、渡航歴、接触歴、症状の経過等）・ウイルス検査結果などを、研究に使用させていただきます。使用に際しては、文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
研究の資金源 <small>(利益相反)</small>	利益相反の状況は、研究代表機関においてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。共同研究機関においてはそれぞれの機関のルールにのっとり適切に報告・管理されます。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。
備考	